

エコアクション21

2022 年度 環境経営レポート

対象期間：2022 年 1 月 1 日～12 月 31 日

株式会社コスモ・サイエンス

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号

TEL 0463-51-2031

FAX 0463-51-2034

<http://www.cosmo-science.co.jp/>

E-mail: info@cosmo-science.co.jp

発行：2023 年 3 月 31 日

— 会社概要 —

(1) 名称

株式会社コスモ・サイエンス

(2) 所在地

〒254-0014 神奈川県平塚市四之宮7丁目3番10号

(3) 代表者

代表取締役 松尾 昭憲

(4) 環境管理責任者

品質保証室 室長 竹内 祥史

TEL 0463-51-2031

FAX 0463-51-2034

(5) 事業内容

真空及び一般装置設計・製作、真空及び一般装置受託製造、真空及び一般装置修理・改造・移設、各種配管設計・施工、部品加工・販売

(6) 事業規模等

1) 資本金：1,000万円

2) 売上高：10億8百万円（2021年7月～2022年6月）

3) 従業員：64名（対象範囲）2022年12月末現在

（対象範囲は本社とする。製造部裾野事業所は顧客の工場に常駐し、同工場はISO-14001認証を取得しその指導下で活動をしている為、EA21登録範囲から除く。）

4) 敷地面積：3,710m²

5) 延床面積：2,576m²

6) 事業年度：7月～翌年度6月

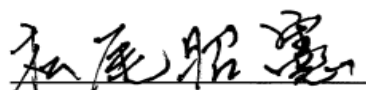
7) 実施及び運用期間：2022年1月～2022年12月

— 環境経営方針 —

株式会社 コスモ・サイエンスは、真空装置を主とした
製品・サービスの提供を通して社会に貢献するとともに
地球環境保全に配慮し
全社を挙げて継続的に環境負荷の低減に取り組みます

1. 当社の事業活動に関わる環境影響を把握し、環境負荷の低減に努めます。
2. 環境関連の法規制、条例及びその他の要求事項を遵守します。
3. 環境経営方針を全従業員に周知・徹底します。
4. 環境経営レポートを作成し、公表します。

2022年7月1日制定
株式会社 コスモ・サイエンス

代表取締役 

— 環境負荷の状況 —

項目	2010年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
電力	464.11 千 kWh	585.7 千 kWh	488.9 千 kWh	502.3 千 kWh	519.5 千 kWh
CO2 総排出量	データなし	264,919kg	221,363kg	266,021kg	249,826kg
産業廃棄物	データなし	12,965kg	14,422kg	12,070kg	10990.0 kg
一般廃棄物	データなし	7,657kg	6,470kg	8,583kg	12,762kg
水道	335 m ³	641 m ³	638 m ³	515.8 m ³	518.9 m ³
化学物質	ジクロロメタン	0 kg	0 kg	0 kg	0 kg
	IPA	252 kg	266 kg	210 kg	42 kg

— 環境経営目標 —

2022年7月1日

取組項目	基準年	年次目標		
	【2010～11年度】 2010年7月 ～ 2011年6月	【2022年度】 2022年1月 ～ 2022年12月	【2023年度】 2023年1月 ～ 2023年12月	【2024年度】 2024年1月 ～ 2024年12月
(1) 二酸化炭素排出量の削減				
1) 電力使用量の削減	基準年度実績 464.113 kWh	基準年度同月比 12 %削減 売上高比	基準年度同月比 13 %削減 売上高比	基準年度比 14 %削減 売上高比
2) ガソリン使用量の削減	基準年度実績 7,741 ㍓	基準年度同月比 12 %削減 売上高比	基準年度同月比 13 %削減 売上高比	基準年度比 14 %削減 売上高比
3) 軽油使用量の削減	基準年度実績 1,231 ㍓	基準年度同月比 12 %削減 売上高比	基準年度比 13 %削減 売上高比	基準年度比 14 %削減 売上高比
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び抑制・削減 (目標設定)				
1) 段ボール	2014年基準設定 2,640 kg	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比	基準年度比 11 %削減 売上高比
2) 雑誌・本類など	2014年基準設定 1,800 kg	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比	基準年度比 11 %削減 売上高比
3) 燃やせるゴミ	2014年基準設定 2400 kg	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比	基準年度比 11 %削減 売上高比
4) 産業廃棄物	2020年基準値見直 22,118kg	基準年度比 4 %削減 売上高比	基準年度比 5 %削減 売上高比	基準年度比 6 %削減 売上高比
(3) コピー用紙使用量の適切な管理及び抑制・削減				
コピー用紙購入量の削減	2014年基準値見直 240,000 枚 (A4 換算)	基準年度同月比 12 %削減 売上高比	基準年度同月比 13 %削減 売上高比	基準年度同月比 14 %削減 売上高比
(4) 水道使用量の適切な管理及び抑制・削減				
水道使用量の抑制・削減	2014年基準値設定 600 m ³	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比	基準年度比 11 %削減 売上高比
(5) グリーン購入の推進				
事務用品についてグリーン商品購入金額比率を高める (代替品有り品目対象)		グリーン比率 98 %		
(6) 有害化学物質の使用量「0」				
(7) 製品・サービス (環境負荷の少ない梱包推進、使用量の削減)				
梱包材使用量の削減	2014年基準値設定 7,200 kg	基準年度比 9 %削減 売上高比	基準年度比 10 %削減 売上高比	基準年度比 11 %削減 売上高比

— 環境経営計画 —

(1) 二酸化炭素排出量の削減

1) 購入電力の抑制

- ・ピークデマンドモタリソグ機器（2器）の活用により節電に努める。
- ・空調の適温化（冷房 28℃、暖房 20℃を目処に）に努める。
- ・空調を必要な区域、時間応じて調整する。
- ・照明の適正化、昼光の利用、スイッチの適正管理を進める。

2) 自動車燃料の使用量の節約及び燃費の改善（エコドライブの推進）

- ・ふんわりアクセル
- ・加減速の少ない運転
- ・早めのアクセルオフ

(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 廃棄物分別の徹底と計量の実施

- ・一般廃棄物の適切な管理。
- ・産業廃棄物の適切な管理。

2) コピー用紙購入量の削減

- ・裏紙を積極的に利用する。
- ・両面コピーを活用する。
- ・電子化を推進する。

(3) 水道使用量の把握

- ・使用量を把握し、異常値などの早期確認と節水の推進をする。

(4) グリーン購入の推進

- ・事務用品についてグリーン商品購入金額比率を高める。

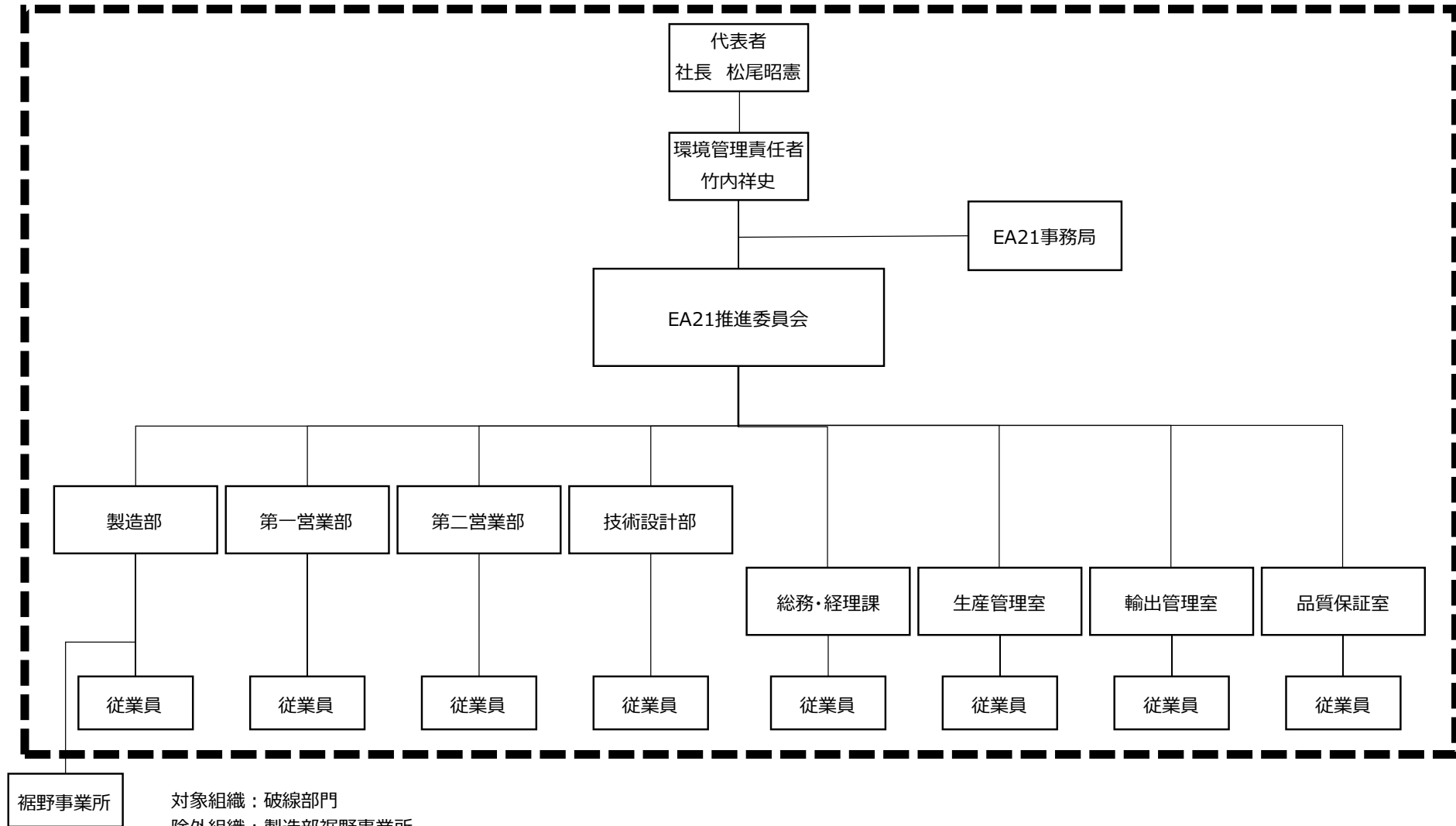
(5) 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

- ・化学物質の適切な管理を実行する。
- ・有害化学物質使用量の抑制を行う。

(6) 環境負荷の少ない梱包の実施

- ・発注量をモタリソグして、使用量の抑制を推進する。

—環境経営システム組織図—



対象組織：破線部門

除外組織：製造部裾野事業所

製造部裾野事業所は、ISO14001の認証取得済みの顧客工場に常駐し、顧客の指揮下で活動をしているため、本活動範囲から除く。

— 環境経営システム 役割・責任・権限表 —

	役割・責任・権限
代表者（社長）	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21 推進委員会の事務局 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開 (社外向けホームページへの掲載と地域事務局への送付)
EA21 推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

— 2022年1月～12月の環境経営目標と実績とその評価 —

1. 二酸化炭素排出量の削減

1) 目標：電力使用量(kWh)の削減 基準年度比12%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	41319	44139	35099	35622	29660	28752	47784	47976	41146	41625	33974	37017	464113
目標値	36361	38842	30887	31347	26101	25302	42050	42219	3628	36630	29897	32575	408419
原単位実績値	46444	35224	12726	16188	14114	16287	16702	16448	15363	16915	19857	18347	244616
目標値比(累計)	28%	9%	-11%	-20%	-24%	-25%	-32%	-36%	-39%	-40%	-40%	-40%	-40%
結果	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	(冬季) ・エアコン設定温度 20℃ ・照明、適切な on-off			・照明、適切な on-off			(夏季) ・エアコン設定温度 28℃(事務所) 25℃(事務所以外) ・照明、適切な on-off ・遮光遮熱シート取付 (2階事務所) ・ビークレメント管理			(冬季) ・エアコン設定温度 20℃ ・照明、適切な on-off ・ビークレメント管理			
評価	1月、2月は累積で目標未達となったが、3月以降は、積極的な省エネ活動の実施により、単月・累積共に目標達成した。												

2) 目標：ガソリン使用量(リットル)の削減 基準年度比12%削減 (近距離・遠距離の区分廃止)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	529	669	776	573	583	566	584	614	738	521	713	876	7,742
目標値	310	392	455	336	343	332	343	360	433	306	418	514	4542
原単位実績値	265	194	75	98	65	113	52	123	68	132	128	93	1407
目標値比(累計)	-14%	-35%	-54%	-58%	-62%	-63%	-66%	-66%	-68%	-67%	-67%	-69%	-69%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。												
評価	単月、累積の共に目標値を達成した。												

3) 目標：軽油使用量(リットル)の削減 基準年度比12%削減 2018年度より管理項目に追加

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	55	70	146	165	87	128	56	132	0	185	138	70	1,231
目標値	97	123	257	290	153	225	99	232	0	326	243	123	2167
原単位実績値	341	178	110	121	53	133	82	116	78	111	57	88	1467
目標値比(累計)	252%	136%	32%	-2%	-13%	-18%	-18%	-23%	-18%	-27%	-33%	-32%	-32%
結果	X	X	X	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	出張や仕事場移動時の相乗り利用。												
評価	単月では、1月、2月、9月で、累積では1月～3月で目標未達となったが、年間目標は達成した。												

二酸化炭素排出量(kg-CO2)の削減 基準年度比 12%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
基準年度値	16,824	18,242	15,303	15,078	12,673	12,399	19,372
目標値	14,805	16,053	13,467	13,269	11,152	10,911	17,047
実績値(原単位)	22,490	16,832	6,210	7,858	6,668	7,968	7,880
目標値比(累計)	52%	27%	3%	-7%	-13%	-15%	-22%
結果	×	×	×	○	○	○	○

項目	8月	9月	10月	11月	12月	累計
基準年度値	19,710	17,102	17,255	14,719	16,058	194,735
目標値	17,345	15,050	15,184	12,953	14,131	171,367
実績値(原単位)	8,019	7,305	8,239	9,420	8,736	117,624
目標値比(累計)	-26%	-29%	-31%	-31%	-31%	-31%
結果	○	○	○	○	○	○
評価	二酸化炭素排出量が単月では1月、2月で目標未達であったが、電力とガソリン使用量が大幅に目標達成したこと、及び後半より軽油使用量も削減できたことで、累積で目標達成している。					

電力の二酸化炭素排出係数 : 0.374 kg-CO₂/kWh (基準年度)
 0.452 kg-CO₂/kWh (2022年度)

2. 廃棄物排出量の適切な管理及び削減

1) 目標：一般廃棄物分別の徹底と使用量削減。

基準値：段ボール 2,640kg/雑誌・本類 1,800kg/燃せるゴミ 2,400kg 2022年度目標：9%削減

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	目標	結果
段ボール	623	1,157	1,466	1,790	2,021	2,355	2,878	3,028	3,418	3,667	4,087	4,478	2,402	×
雑誌・本类等	38	45	51	55	96	179	265	268	284	288	292	292	1,638	○
燃せるごみ	75	135	159	201	261	311	411	496	612	722	785	853	2,184	○
合計	735	1337	1677	2046	2378	2845	3554	3792	4314	4677	5164	5623	6,224	○
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。													
評価	段ボールについては大型の顧客支給部品案件が増加しているため、単位評価で通年を通し、単月・累積でも目標値を大幅に上回った。他の項目では大幅に目標を達成できており、一般廃棄物全体では4月以降は目標を達成している。													

2) 目標：産業廃棄物分別の月定と使用量削減

基準値(累積)：基準年度比1%削減 (基準年度実績合計値：2018年 21,793kg:2020年目標値見直し)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	評価	
汚泥	目標値	0.67	1.34	2.02	2.69	3.36	4.03	4.7	5.38	6.05	6.72	7.39	8.06	○
	実績値 (原単位)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
廃油	目標値	16.3	32.6	49	65.3	81.6	97.9	114.2	130.6	146.9	163.2	179.5	195.8	○
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
混合廃棄物	目標値	12.5	25	37.4	49.9	62.4	74.9	87.4	99.8	112.3	124.8	137.3	149.8	○
	実績値 (原単位)	0	16.2	16.2	28.3	39	39	52.9	52.9	52.9	66.6	66.6	80.1	
廃プラスチック類	目標値	605	1,210	1,814	2,419	3,024	3,629	4,234	4,838	5,443	6,048	6,653	7,258	○
	実績値 (原単位)	0	1,147	1,147	1,995	2,520	2,520	3,395	3,395	3,395	4,355	4,355	5,272	
木くず	目標値	1,113	2,225	3,338	4,451	5,563	6,676	7,788	8,901	10,014	11,126	12,239	13,352	○
	実績値 (原単位)	3,213	3,213	5,391	5,391	5,391	8,187	8,187	8,187	8,187	10,562	10,562	10,562	
引火性廃油	目標値	20.2	40.3	60.5	80.6	100.8	121.0	141.1	161.3	181.4	201.6	221.8	241.9	○
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
引火性廃油(有害)	目標値	2.4	4.8	7.2	9.6	12.0	14.4	16.8	19.2	21.6	24.0	26.4	28.8	○
	実績値 (原単位)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
合計	基準年度値	1,843	3,686	5,530	7,373	9,216	11,059	12,902	14,746	16,589	18,432	20,275	22,118	○
	目標値	1,769	3,539	5,308	7,078	8,847	10,617	12,386	14,156	15,925	17,695	19,464	21,234	
	実績値 (原単位)	3,213	4,376	6,553	7,414	7,949	10,746	11,635	11,635	11,635	14,984	14,984	15,914	
活動内容	廃棄物分別の順守と排出量削減への意識付け。													
評価	2022年度は、汚泥、廃油、引火性廃油の廃棄はなかった。混合廃棄物と廃プラスチックは年間を通じて目標を達成した。木くずは7月までは目標未達であったが、8月以降は顧客への一部返却依頼の促進等により目標を達成している。													

5. コピー用紙使用量の適切な管理

目標：コピー用紙購入量（枚）の削減 基準年度比 12%削減(A4 換算)

基準値の変更：製品カタログ作成、引合い・受注件数の増大によるコピー使用量の増加不可避の為

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準年度値	20,000	40,000	60,000	80,000	100,000	120,000	140,000	160,000	180,000	200,000	220,000	240,000
目標値	17,600	35,200	52,800	70,400	88,000	105,600	123,200	140,800	158,400	176,000	193,600	211,200
実績値(原単位)	12,264	18,371	21,429	29,829	32,760	34,558	38,142	40,863	42,832	45,054	50,682	54,318
目標値比(累計)	-30%	-48%	-59%	-58%	-63%	-67%	-69%	-71%	-73%	-74%	-74%	-74%
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	裏紙の利用、両面コピーの徹底、ネットワーク情報の活用による、紙使用の低減など。											
評価	裏紙、両面コピーの徹底、及び帳票類や提出書類の一部の電子化等の紙使用量削減の取組みを行い目標値は達成した。											

(新基準値の設定：年間 240,000 枚 / 2022 年度は新基準値の 12%削減)

4. 水道使用量の適切な管理

取組項目：水道使用量（m³）の管理・抑制 基準値：600 m³/年、2022 年度 9%削減)

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
基準値	50.0	100.0	150.0	200.0	250.0	300.0	350.0	400.0	450.0	500.0	550.0	600.0
目標値	45.5	91.0	136.5	182.0	227.5	273.0	318.5	364.0	409.5	455.0	500.5	546.0
実績値(単位)	45.0	75.3	87.4	104.9	120.6	136.0	149.7	164.9	180.4	202.9	221.4	242.7
結果	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	節水シールの貼付、およびペットボトルの挿入によりトイレの排水/1回の減水継続。毎週の水道使用量を計測し、異常事態発生の監視継続中。											
評価	使用状況には異常値は認められない。2022 年度目標は達成した。											

5. グリーン購入の推進

取組項目：事務用品グリーン購入の推進

購入品の内グリーン調達代替品なしの品目があるため、活動対象を代替品有り品目に限定

取組項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
比率 目標 98%	100%	100%	100%	97%	100%	97.6%	100%	100%	88.7%	100%	100%	100%	99%
グリーン購入品 ￥	8,668	11036	8,891	18915	7,667	3,885	7,956	5,249	3,638	9,775	26898	1,537	114,115
事務用品全額 ￥	8,668	11036	8,891	19505	7,667	3,979	7,956	5,249	4,100	9,775	26898	1,537	115,261
活動内容	事務用品グリーン購入品目の拡大推進。												
評価	4月、6月、9月で発注手続きの誤りのため、目標未達となったが、年間では目標を達成した。												

6. 化学物質の適切な管理及び使用量の抑制

取組項目：化学物質の適切な管理、および有害化学物質（ジクロロメタン）使用停止。

取組項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	累計
パーツクリーナー (スプレー)	0	29.4	0	29.4	0	0	0	0	29.4	0	0	0	118
SU-55(kg)	0	0	12	0	0	0	12	12	0	0	0	0	36
IPA(kg)	0	0	0	14	0	0	14	0	0	14	0	0	42
活動内容	化学物質の管理適正化および使用量の抑制。代替品による有害化学物質の使用停止。												
評価	2021年4月以降、IPAを原則使用停止とし代替品のエアロリンス（有機則、PRTR対象外）を使用しているが、購入量が0にはなっていないのは、IPAの使用を指定する顧客があるため。他の有機溶剤の購入量は適切であると判断する。												

7. 製品・サービス

項目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
目標 kg	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6	54.6
目標累計	54.6	109.2	163.8	218.4	273.0	327.6	382.2	436.8	491.4	546.0	600.6	655.2
実績、原単位評価	32.3	119.3	11.7	56.3	13.6	35.9	43.2	35.4	20.8	43.0	36.4	28.2
原単位実績累計	32.3	151.6	163.3	219.6	233.2	269.1	312.4	347.7	368.6	411.6	448.0	476.2
結果	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○
活動内容	梱包材の購入量の計測、目標値の設定による使用量の抑制。											
評価	2月、4月は単月・累積で目標未達であったが、他の月は目標を達成した。											

目標：環境負荷の少ない梱包 目標値設定による使用量の抑制（基準値：60kg/月、2022年度9%削減）

— 次年度（2023年度）以降の取組み内容 —

取組項目	次年度の取組み内容
(1) 二酸化炭素排出量の削減	
1) 電力使用量の削減	生産増加見込み → ピークデマンド管理 → 増加抑制。 設備更新時は省エネ設備を検討し導入する。
2) ガソリン使用量の削減	現在の活動を継続する。
(2) 廃棄物排出量の適切な管理及び削減	
1) 一般廃棄物の適切な管理	廃棄物の分別管理を基本とする現在の活動を継続する。
2) 産業廃棄物の適切な管理	
(3) コピー用紙購入量の削減	提出書類の電子化、両面コピーの徹底を継続し、目標達成できるように活動を継続する。
(4) 水道使用量の適切な管理	現在の活動を継続し、進捗を確認しながら目標を達成する。
(5) 化学物質	化学物質購入量の管理を継続する。
(6) 環境負荷の少ない梱包	自社設計・製造装置類の受注増加により使用量増加している。原単位管理をしていく。

— 環境関連法規等の遵守状況、違反、訴訟の有無 —

No	主要な法規	項目	確認内容	評価
1	廃棄物処理法	一般廃棄物	契約書の確認	○
		産業廃棄物	契約書の確認	○
			マニフェスト管理	○
		特別管理産業廃棄物	契約書の確認	○
マニフェスト管理	○			
2	フロン排出抑制法	第1種特定製品の廃棄	登録書、引渡書の確認	○
		第1種特定製品の簡易点検	点検記録の確認	○
		電動機定格出力 7.5kW 以上の第1種特定製品の定期点検	点検記録の確認	○
3	消防法	防火管理者、消防計画	提出済	○

環境関連法規等の遵守評価を行い、確認の結果、環境関連法規等に関する違反はありません。関係当局による指摘もありません。環境関連に関して苦情の発生・訴訟もありません。

— 代表者による全体評価と見直し記録 —

<p>評価</p>	<p>【環境活動全般について】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年度は、一般廃棄物である段ボールの廃棄量を除き全ての指標で目標を達成した。従業員一人一人の日常の省エネ活動や事務局の各指標に対するきめ細かな管理活動の成果であると評価する。 ・一方、一般廃棄物全体としては目標を達したものの、段ボールの廃棄量は、目標値の2倍近くと目標に対し大幅な未達となっている。原因としては、製品ミックスの変化により、段ボールで梱包される大型の購入品が大幅に増えたことが考えられるが、社内での対策は難しい状況である。事務局に対して、目標値の見直しを含めた今後の対応の検討を指示した。 <p>【前回審査時の指摘事項への取組結果】</p> <p>前回審査時の推奨事項は、以下の通り対応を完了したことを確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「環境への負荷のチェックシート」の資源使用量に「梱包材」「紙」を追加すること。 ⇒「環境への負荷のチェックシート」の資源使用量に、2022年度から「梱包材」「紙」の購入量を記載することとした。 ・環境目標の「二酸化炭素排出量の削減」の二酸化炭素排出係数は各年の排出係数を使用しているが、活動の成果としての評価を行うために、一定期間は同一の排出係数を使用すること。 ⇒2022年度より、排出係数は、過去5年間の排出係数の平均値を使用することとした。 ・「環境法規制・その他の要求事項の登録簿」で環境関連法規の特定が行われており、「順守義務一覧及び順守評価記録表」で順守評価を行っているが、「順守義務一覧及び順守評価記録表」には、廃棄物処理法、フロン排出抑制法、消防法のみが記載されている（他の法律も順守評価を行っている）。 ⇒「環境法規制・その他の要求事項の登録簿」に順守評価結果を追加するとともに、「主要法令順守評価記録表」に主要法令の詳細な順守評価結果を記載することとした。
<p>見直し</p>	<p>見直し（変更）が必要と判断した項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 環境経営方針の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input checked="" type="checkbox"/> 環境経営目標、環境経営計画の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input type="checkbox"/> 環境経営システム（マニュアル、運用手順等）の見直し（変更）が必要と判断しました。 <input type="checkbox"/> その他、_____の見直し（変更）が必要と判断しました。 <p>見直しの内容（改訂文書名、改定内容 等）</p> <p>環境経営目標の中の段ボール及びそれに伴う一般廃棄物廃棄量の目標値見直しの検討を指示した。</p>